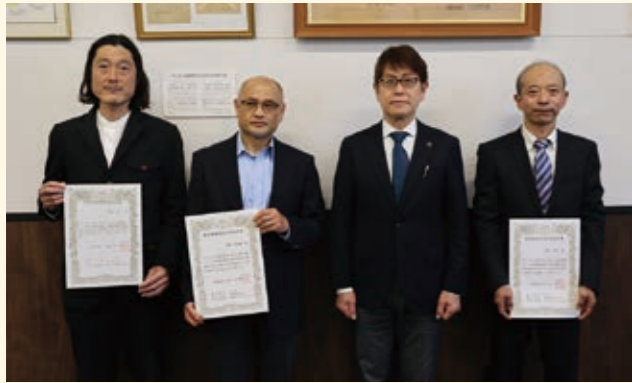


～下田のデキゴト～



3/2 下田の農業の中心的担い手に

認定農業者と認定新規就農者に認定書を交付しました。農業者の5年後の目標や取組内容を農業再生協議会（農業委員会・農業振興会・JA等）にて審査するもので、融資制度や国・県の支援を受けられ、農業の中心的担い手としての役割が期待されます。



3/8 市内各地で津波避難訓練を実施

東日本大震災の発生から15年が経過し、市内では津波の被害が予想される地域の自主防災会を中心に、防災訓練を実施しました。実際に避難場所へ移動して避難にかかる時間や経路を確認するなど、いざという時に備えた訓練が各地で行われました。



3/25 農林水産大臣官房長賞を受賞

第38回優良ふるさと食品中央コンクール国産畜産利用部門において、(有)渡辺水産「金目鯛ごはんの素」が農林水産省大臣官房長賞を受賞し、受賞報告をいただきました。商品開発の苦労や販売後の反響について伺い、今後の更なる活躍が期待されます。



3/2 「人生最後の寄附」を希望したものに

三島信用金庫と遺言を活用した遺贈に関する協定を締結しました。遺産の全部又は一部を自治体や団体などに寄附する「人生最後の寄附」、社会貢献の手段として近年注目され、市への遺贈を希望される方に、三島信用金庫が専門的知見から助言を行います。



3/9 私らしい生き方、働き方を

男女共同参画講座「これからの私にワクワクする私らしいライフ&キャリアビジョン」を道の駅開国下田みなにて開催しました。これからの生き方、働き方について、「自分を中心に」据えて前向きに考えていく大切さを学びました。



3/26 クルーズ船誘致協議会設立

賀茂郡の1市5町と県及び(一社)美しい伊豆創造センターとで構成する賀茂地域クルーズ船誘致受入協議会が発足し、同日クルーズ船事業を展開するRヨット(株)と連携協定を締結しました。クルーズ船の誘致を地域振興、経済活性化に結び付けていきます。

地域子育て支援センター通信



5月の予定

- 1日(金) こどもの日の会
 - 2日(土) 開館日
 - 11日(月) 体育館で遊ぼう 9:30~11:00
場所: 市民スポーツセンター
 - 16日(土) 開館日
 - 18日(月) 体操教室 10:00~11:00
場所: 市民スポーツセンター
 - 19日(火) 誕生会 10:30~11:00
 - 20日(水) 健康講話
 - 22日(金) おでかけ広場(海遊公園) 9:45~11:00
 - 25日(月) 発育測定・育児相談 9:00~11:00
保健師・栄養士来所
 - 27日(水) 歯のお話 講師: 河井恵美子
 - 29日(金) 図書館出前講座 10:30~11:00
- ※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

問合せ先: 地域子育て支援センター ☎02200

暖かな春の日差しにつつまれて新年度がスタートしました。子育て支援センターは、親子で自由に活動できる場や子育てに関する相談、情報の提供などを行っています。また第一・第三土曜日の開館を行っています。お子さんの健やかな成長を保護者の方とともに願い、安心して子育てができるように活動を進めていきたいと思っております。たくさんのお友達との出会いを楽しみにしています。お気軽にお越しください。



誕生会



年齢別ルーム



交通安全教室



おひな様製作

こんにちは、教育長です

大切なカバン

真新しいカラフルなランドセルやリュックがソメイヨシノをくぐります。心躍る季節です。少し前までは本革の赤、黒のランドセルが定番で、それだけで重いものでした。児童が背負うランドセルは「マスクメロン3個分」ほどの重さだと、面白い例えを聞いたことがあります。ランドセル(以下カバン)一杯に勉強道具を詰め込んで学校に、そしてまた帰りも詰め込んで自宅に。しかし、カバンに入れるものは教科書やノート、副教材や筆箱(ペンケース?)だけではなさそうです。楽しかったことや嬉しかったこと、悲しかったことや悩み、ゼーんぶ入るだけ詰め込んでそれを背負って学校と家庭を行き来するのは。毎日がその繰り返し。だから、時々ある、学校行事、例えば遠足とか校外学習とか、音楽会、昔は写生会などもありましたが、子どもにとってはいつもと違うものを背負って出かけられる時がまた新鮮で楽しいのです。帰宅すると、カバンから教科書、ノートの他、その日にあった出来事を取り出して家族に話します。楽しかったこと嬉しかったことはいつもより声高になり会話も弾みます。しかし、時につらいこと、苦しいことが大きすぎて、または多すぎてカバンに入りきらない日もあります。そんな日は教室の隅に「嫌なこと」だけそっと下ろして帰ります。子どもが全て下校した暗い校舎を職員が見回ると、教室の机や、廊下の掲示物に落書きがあったりします。その子の、我が子のカバンにいったい何が入っているのか。あえて見る必要はないと思うのですが、表情やことば、些細な反応から敏感に感じ取ってあげられればよいのです。「乳児から肌を離すな、幼児から手を離すな、少年から目を離すな、青年から心を離すな」たしかある大学ラグビーの名将の言葉です。今日もピカピカの子どもたちがやってきます。ご家族、学校はもちろんだ、地域の皆さんで温かく見守る社会でありたいものです。



3月のできごと

- 2月28日 第21回下田市長杯兼第12回しずぎんカップ・スポーツ少年団軟式野球下田支部大会
- 3日 水産・海洋学講座①
- 5日 65歳ノート活用講座
- 10日 青少年健全育成連絡協議会・青少年補導センター合同研修会
- 18日 下田認定こども園 卒園式
- 19日 市内小中学校卒業式

※掲載情報は、3月27日時点